



～ 救助工作車を更新しました～

東北地方で初めてのダブルキャブシャシベースのバス型救助工作車を導入しました。交通事故現場、火災現場などで使用する電動工具をはじめとした最新の救助資器材や、震災時に瓦礫の下にいる要救助者をいち早く発見・救助をすることができる高度救助資器材を積載しており、様々な現場での活躍が期待でき、圏域外で発生した大規模な災害へも緊急消防援助隊として出動する車両です。

車内高が高く、スムーズな
車内活動が可能

車載照明

クレーン

電光掲示板

電光掲示板



令和5年11月21日

鶴ヶ城にてはしご車による訓練を行いました。
実災害に備え、進入路や停車位置の確認、
放水訓練を実施しました。



訓練の様子
はこちら



生ごみの減量にチャレンジしてみよう！

～会津若松市ではこんな取り組みを実施しています～

生ごみを減量するための行動

行動① 発生抑制

まずは、食材・食品の「適量購入」、食材の「使いきり」、料理の「食べきり」により、生ごみを発生させないようにしましょう！

行動② 消滅化・堆肥化

次に、発生した生ごみは、消滅型生ごみ処理容器「キエー口」や「コンポスト」を活用し、各家庭で消滅化・堆肥化しましょう！

行動③ 乾燥化と水切り

最後に、燃やせるごみとして排出する場合は「乾燥化」や「水切り」を徹底しましょう！



生ごみ処理容器「キエー口」を使って、生ごみの減量を進めましょう！

<キエー口の作り方>

用意するものは、蓋付きケース、土(黒土が◎)、スコップ、生ごみ保管容器です。

◆自宅にあるものでスタートできます！

<キエー口の使い方>

- ① キエー口に深く穴を掘る
 - ② 生ごみを投入し、土とよく混ぜてから掘った土(乾いた土)で蓋をする
 - ③ 微生物が生ごみを数日で分解
 - ④ 生ごみが消えたら次の生ごみを投入
- ◆①から④を繰り返しましょう！



キエー口は、(1)数日で減量効果が実感できる、(2)臭いや虫が発生しない、(3)土の量が増えない、(4)生ごみを長時間保管する必要がなくなるなど、とても便利です！

<注意点> 気温が低くなると分解速度が遅くなります。

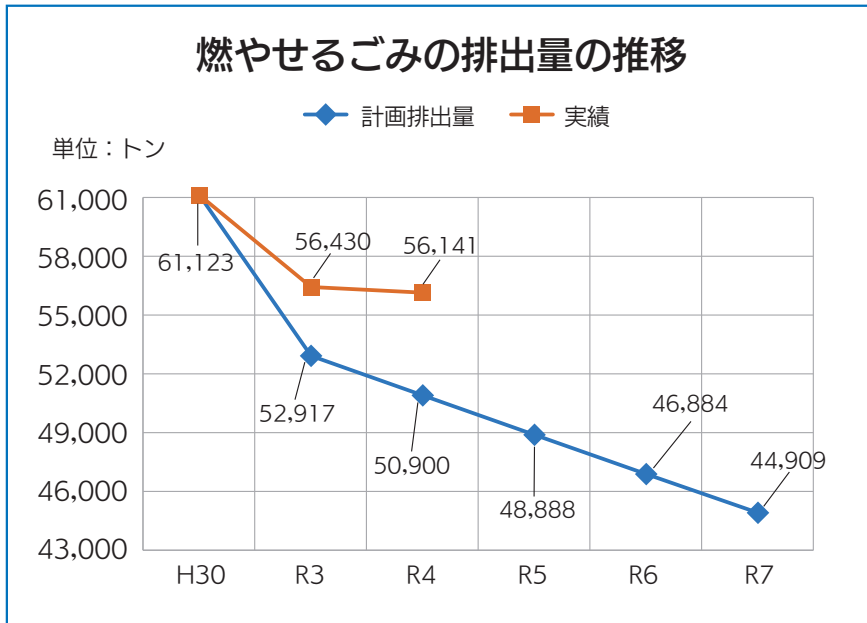
使用できる期間の目安は4月から11月です。 ◆冬場はコンポストを活用しましょう！



←「キエー口」について会津若松市HPで公開しています

※キエー口は、キエー口葉山の登録商標です。

ごみ減量のお願い



令和2年3月に策定した『ごみ減量実施計画』では、令和7年度までに「燃やせるごみ」の排出量を44,909トンまで減量することを重点目標としております。

これは平成30年度を基準として令和7年度までに、燃やせるごみを26.5%減量しようとするもので、構成10市町村と一緒に取り組んでいます。

排出量は減少していますが、目標には届いていません。

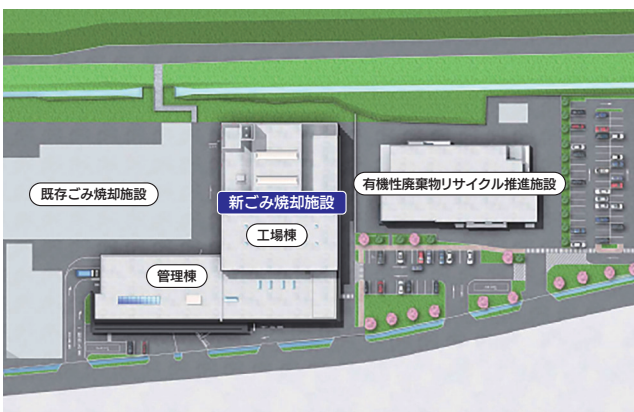


なぜごみの減量をしないといけないの？

1人1日当たりの排出量は減少傾向を示しつつも、当組合圏域の排出量は全国平均を20%近く上回っています。ごみ減量とリサイクルの取組を着実に推進し、焼却量を減らすことで環境負荷の低減を図るとともに、ごみ処理施設の建設や処理に係る費用を節減するためです。

新ごみ焼却施設建設工事の進捗状況について

令和4年10月より建設工事に着手し、令和5年度は工場棟の地下及び1階部分の工事を中心に進めてきました。現在、焼却炉が設置される1階床部分のコンクリート工事が完成し、地上階部分の鉄骨工事を進めております。令和8年3月完成に向け、鋭意施工中です。



お問い合わせ先 環境センター TEL：0242-27-9004

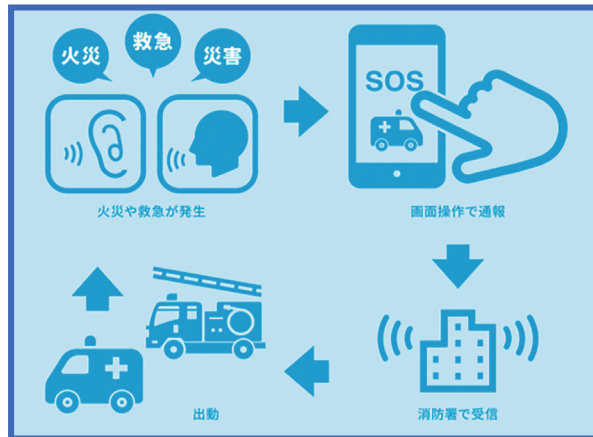
『NET119緊急通報システム』を知っていますか？



『NET119緊急通報システム』は聴覚障がいや言語障がいにより音声での119番通報が困難な方がGPS機能のついた携帯電話等で画面操作により119番通報できるシステムです。

GPS機能により場所を容易に特定！

全国どこからでも通報可能！



選択肢タップで簡単通報！

チャット形式での通報も可能！

◆利用対象者

- (1) 聴覚又は言語障がいがあり、身体障がい者手帳の交付を受けている方
- (2) 音声による119番通報が困難であると会津若松消防本部消防長が認めた方

◆登録方法

事前登録が必要となります。お住まいの市町村役場もしくは会津若松地方・喜多地方消防指令センターにご相談ください。

お問い合わせ先 会津若松地方・喜多地方消防指令センター TEL:0242-59-1420 MAIL:fd.sirei@119-aizu.jp

春季全国火災予防運動

3月1日から7日は**春の火災予防週間**です。

3月に入ると日中は暖かい日が増えてきますが、朝晩はまだまだ冷えるので暖房器具を使用することも多いと思います。春は空気が乾燥して火災の起きやすい季節ですので、暖房器具の取扱いには十分注意しましょう。



令和5年火災件数

市町村	建物	林野	車両	その他	合計	前年比
会津若松市	20		2	16	38	3
湯川村	1		1	1	3	0
猪苗代町	3	1	2	1	7	▲4
磐梯町			1		1	▲4
会津坂下町	4	1	1	2	8	6
柳津町				1	1	▲3
三島町			1	1	2	2
金山町					0	▲1
昭和村	1				1	1
会津美里町	5		1	5	11	0
合計	34	2	9	27	72	0

灯油流出事故を未然に防止しましょう

＜灯油流出事故防止のため、日頃から以下の点に注意＞

タンクはしっかり土台に固定する！

給油後はバルブをしっかりと開める！

配管部・接続部に腐食・ゆるみがないかチェック！

給油中はその場を絶対離れない！



※灯油を流出させてしまった場合は、消防機関に通報してください。

編集・発行

会津若松地方広域市町村圏整備組合

〒965-0037 会津若松市中央三丁目10-12 TEL:0242-24-6311 FAX:0242-24-6313
ホームページ <https://www.aizu-kouiki.jp/>